



「Domestic Violence」 「Dating-DV」 「虐待」等に関心のある皆さま
市町村や民間の相談員・支援員の方々

《暴力・虐待防止研修会》

こんな暴力の実態をご存知でしょうか？

- 4人に一人の女性がDV被害を受けています。
- 10人に一人の女性が何年も被害を受け続けています。
- 20人に一人の女性がいのちに関わる程の被害を受けています。
- 毎年、3日に一人、妻が夫に殺されています。
- 6日に一人、夫が妻に殺されています（警視庁発表）。

いのちに関わる暴力、人権侵害としての暴力、暴力は犯罪です
暴力被害女性に二次被害を与えないよう、共に学び、暴力の正しい知識を得て支援を充実させていきたいと思ひます。

日時：平成29年12月18日（月）14時～16時

場所：前橋元気21前橋中央公民館505号室

〒370-0023 前橋市本町2-12-11 ☎：027-210-2199

参加費：無料

内容：★DV・デートDVとは？その原因★被害者の心理
★加害者の実態★二次被害対応★質疑

講師：今井 雅巳 デートDVファシリテーター・
教育カウンセラー
茂木 直子 デートDV&加害者プログラム
ファシリテーター

一度、お気軽にお話を聞いてみて頂ければ・・・と思ひます。



★連絡先；
女性と子どものいのちを守るぐんま支援センター



〒371-0018 前橋市三俣町1-4-13

電話&FAX；027-215-5606

MAIL；hikobae@major.ocn.ne.jp

[Http://hikobaegunma.sakura.ne.jp](http://hikobaegunma.sakura.ne.jp)



相手からの支配があるかどうかのチェックリスト

目に見えない支配や権力がある関係かどうかをチェックしてみましょう
チェックリストにいくつかあてはまる場合は力の差があり、相手からコントロールされている
関係の可能性があります

【支配があるかどうかのチェックリスト】

- パートナーの言うことは絶対だ
- 自分の希望をパートナーに伝えるのはエネルギーがいる
- パートナーの前では電話をしたくない
- 自分の感えや感情よりもパートナーが怒らないかを基準に考える
- パートナーが間違っていると感してもパートナーに同調しなくてはならない
- パートナーの機嫌を良い状態にするためには努力をおしまない
- 自分の楽しみをパートナーに潰されるのではないかと不安である
- パートナーと一緒にいると緊張する
- パートナーのセックスの要求は断れないと感じている
- パートナーに誤解されないように細心の注意を払っている
- パートナーの不機嫌・暴力・暴言などを恐れている
- パートナーの言動に意見できないと思っている
- パートナーのタイミングに合わせて動かなくてはならない
- 欲しい物や必要な物でもパートナーが良い顔をしないと買えない
- パートナーと上手くやっていくためには無理をしなくてはならない
- パートナーの指示には従わなくてはならないと感じている

レジリエンス☆こころの care 講座
テーマ①「DV・トラウマを理解する」配布資料より一部抜粋